

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・題材や教材を扱う時期を検討したことで、学習に向かう意欲は高く、日常での経験を生かして学びを深めようとする姿が見られた。
- ・話し合いの時間を多く取り入れたことで、課題を解決するための協働的な学びを行う場面が多く設定することができた。

(2) 課題

- ・生活経験の差が見られることから、学習したことを深化させる活動場面が必要である。
- ・技能の定着に個人差が見られ、学習の時間内で全員高めることが難しい。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・製作や実習の中においても、グループ学習を取り入れることを通して、児童相互の技能を高められるようにする。 ・6年生においても、技能の定着を図るために、基本的な技能の確認の時間を設定する。	・日常生活の中から問題を見だし、それを課題として設定し解決するサイクルを定着させるようにする。 ・考えたことを表現する機会を多く設定し、課題を解決する力を養うようにする。	・児童に身近な題材や教材を取り上げることを通して、児童が家庭での実践に取り組むことができるようにする。 ・生活をよりよくするという視点で学習を広げられるような振り返り場面を設定する。